

岐阜県農業技術センターニュース No.63

「食料確保・生産力向上プロジェクト研究」等の7課題を新規に開始します！

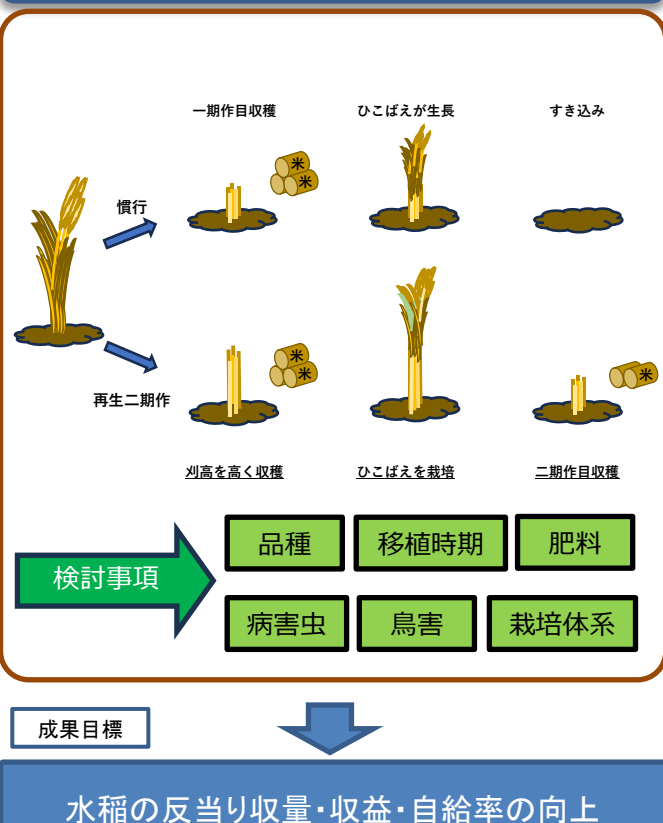
当センターでは、県の重要課題として戦略的に取り組むプロジェクト研究及び重点研究、農業現場が抱える課題を効果的に解決する地域密着型研究を実施し、令和8年度は新たに7課題の研究を開始します。今回、食料自給率の向上に加え、農業を支える「担い手」が農業を続けるための基盤となる生産力の向上を目指す「食料確保・生産力向上プロジェクト研究」4課題を紹介します。

【「食料確保・生産力向上プロジェクト研究」の背景と事業内容】

岐阜県の食料自給率は日本全体よりも低い状況です。このような輸入依存の状態では、国際情勢の影響を受けやすく、価格高騰や食料不足のリスクが高くなるため、食料自給率を向上する必要があります。また、単純に生産量を増やすだけではなく、農業を支える「担い手」が農業を続けていく環境を整える必要があり、その基盤となる生産力の向上も必要です。そのため、収量向上や省力化、未利用資源の活用などにより、食料自給率および生産力の向上に資する技術の研究開発を行います。

美濃平坦地における水稻の反当り収量の向上と収益向上を目指した再生二期作技術の確立

目的: 反当り収量および収益の向上のため、水稻再生二期作に適した栽培条件や栽培技術を確立する。



収益を向上させるネイティブフラワー新品種育成と省力化栽培技術の開発

目的: 単価の高いネイティブフラワー新品種育成と省力化栽培技術を開発する。

ネイティブフラワーとは：オーストラリアや南アフリカなどの南半球が原産地の植物の総称で、ワイルドフラワーとも呼ばれています。特徴的なフォルムや色合いを持ち、一本でも存在感を放ちます。



商品力が強い

そこで

生産が難しい

新品種開発
・開発した育種用栽培技術を活用してセルリア等の新品種開発

省力化栽培技術開発
・挿し木時期、摘心時期、鉢替え時期、矮化剤処理方法
・用途(切花、鉢花)別の省力・最短栽培技術

収益向上

加工用花材の品目選定と加工方法の開発
・加工用花材の品目選定
・加工方法の開発

成果目標

花き生産者の収益向上

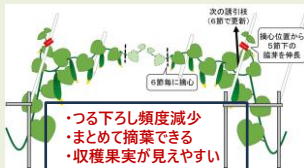
新規就農を促進するキュウリおよび トマトの省力化技術の確立

目的：キュウリでは省力化を可能とする新たな整枝・摘葉技術を、トマトでは連続栽培槽ベンチ、目詰まりを防ぐ給液技術を開発。

キュウリ

リレー型つる下ろし栽培

(従来) 1. 摘心、2. つる下ろし、
3. 更新型つる下ろし



収穫時間を短縮する摘葉技術



トマト

独立ポット耕



低コストな連続栽培槽 (+ 目詰まりしにくい給液管理)



既存の独立ポット耕 +
目詰まりしにくい給液管理



・点滴チューブの
目詰まりが発生
しても被害を軽
減化
・ベンチ部材の
変更による導入
コストの低減化
・ポット消毒省
略など植替え作
業の軽減化
・低pH給液によ
って目詰まりし
にくい給液

低コストな連続栽培槽の開発、給液目詰まり対策技術の確立

成果目標

省力化技術により新規就農を促進

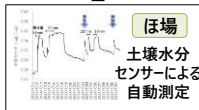
持続可能な果樹産地を支える DX活用型リスクリグ技術の開発

目的：熟練者の経験を言語化、データ化し、画像解析、AI、IoT機器などを活用して栽培管理技術のDX化を図る。

DX技術の開発【富有をベース】

クラウド型かん水制御システムの構築

クラウド 水分データの可視化
かん水タイミングの通知



生産者 スマホで
状況確認
かん水作業

3Dモデルを利用した栽培および 生育管理指標の作成



画像解析やAIなどによる解析データを使用した
栽培管理の最適化および果実品質向上



スマート農機導入に適した省力樹形

開発したDX技術⇒熟練者の経験の言語化・データ化によって栽培技術の普遍化

「富有」以外の品種、新規導入する品種やカキ以外の品目においても活用

成果目標

果樹産地としての生産量増加により自給率向上



Instagram

- ・県庁マルシェの出店情報やその様子を配信♪
- ・岐阜県の農業・生産者のストーリーをお届け🍓
- ・アグリパークの取組と魅力を続々発信します！



アグパ/県庁マルシェ【公式】

本センターでは、この春から「農業×研究」と題して研究所の様子や研究成果を紹介するためのSNS動画を、Instagramの岐阜県農政部公式アカウント「ぎふアグリサーチ」に投稿していきます。

第1弾の「農業×研究＝意外とおもしろい情報を発信」では、イントロとして各部署での春の作業風景を紹介しました。

第2弾では、「知られざるイチゴ育種の世界」として、岐阜県生まれのイチゴ品種の特徴とともに、どのような作業を経て新しい品種が育種されるのかを紹介しました。

今後どんどん新しい情報を紹介をしていきますので、ご期待ください。



5/1 投稿



6/19 投稿

岐阜県農業技術センター

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 Tel 058(239)3131
ホームページ <https://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

